花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく4

国立市立国立第七小学校
平成２８年6月7日　NO.21（３２１）

ある保護者「モンタ博士！『きっず花札』（～くにたちの自然バージョン～）がやっと完成しました。」

モンタ博士「ブラボー！それはよかったですね。子供たちの絵がどれもこれも、みんなすばらしいですね。とても感心しました。ありがとうございました。」

ある保護者「国立七小の子供たちが協力して一生懸命に作ったので、クラスに１セットずつお貸しします。みんなで楽しく遊んでください。」

モンタ博士「ありがとうございます。貸してくれるのですか。うれしいな。みんなでていねいに使わせてもらいます。これから梅雨になって、お外で遊べない時に教室でやったら最高ですね。」

オー君　「モンタ博士！花札って、何ですか。」

モンタ博士「トランプのような、かるたのようなものといったらわかるかな。」

花ちゃん　「江戸時代にできたらしいわ。日本は自然が豊かで植物や昆虫、鳥などもい

ぱいいるでしょ。それでできたのが花札よ。いろいろな役を作ったりするので、とても楽しいのよ。」

モンタ博士「それから、カードは１月から１２月まで４枚ずつあって、全部で４８枚。その季節に見られる動植物がかかれているから楽しいのさ。」

花ちゃん　「それを今回は、国立七小の子供たちが、身近に見られるいろいろな生き物を題材として作ったということですね。」

オー君　　「何だかとっても楽しみになってきたな。早く遊びたいな。ところで、だれが作ったのかな。」

モンタ博士「国立七小の子供たちなんだ。ご紹介すると、ちひろさん・ゆうなさん・ちょうこさん・ななみさん・ほのかさん・ななかさん・りのさん・ゆかりさん・もとほさん・まひろさん・あきらくん・もとはるくん・もとなりくん・けいとくん・はやてくんたちなんだ。みんなとってもよくかけているんだ。子供の絵って、とってもすてきですね。感心しました。」

オー君　　「早くやりたいよ。でも、どうやってやるのかな。」

モンタ博士「大丈夫さ。カードの一覧表や、５光や４光、赤アリ、青アリ、ケロトンチョウなど出来役なども書いてあるよ。」

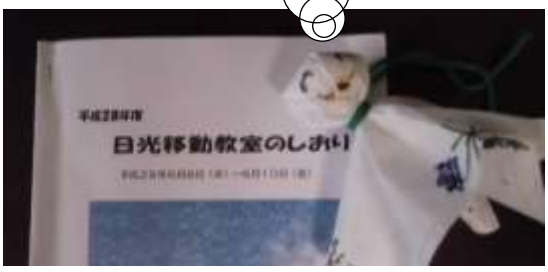
オー君　　「５光？赤アリ？ケロトンチョウ？って何だろう。」

モンタ博士「まずは、やってみることだね。そのうちわかるさ。」

花ちゃん　「楽しみですね。友達と早くやりたいな。」

花札は、ヨーロッパから伝来したカルタの形から、江戸時代に大名庭園の花樹を花のモチーフにしたといわれています。花札には、自然と共存する日本文化が盛り込まれ、樹木や四季の花々を手中に収めて組み合わせを楽しむ遊びといえます。

キッズ花札～くにたちの自然バージョン～は、小学生が中心となって、自分達の街、国立の昆虫や野鳥など季節の訪れを知らせてくれるワクワクする生き物をモチーフに作成しました。みんな同じ時、同じ町に住み合わせた自然の中の生き物。小さな仲間を感じながら、キッズ花束を楽しんでいただけたらと思います。

キッズ花札作成の「はじめに」より転載

６年生のみなさん。いつもあそんでくれてありがとう。
いよいよ明日から日光ですね。
気をつけて行ってきて下さい。
お天気よくなりますように
１年生みんなで祈っています。